

【学校教育目標】

〈 自啓・誠実・協同 〉

～自分自身や周囲の人々、そしてふるさとを大切に、夢や目標に向かって努力する生徒を育成する。～

【本校の現状と課題】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 新体力テストの総合評価 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値が1・2年男子はマイナス値であるが、女子は全学年とも大きく上回っている。
 - 新体力テストの合計点が県平均と比べて男子は全学年下回っているが、女子は上回っている。
- ② 「運動に関する意識・運動習慣」についての分析より
 - 「体育が好き」と答える生徒は、全校生で92%と高評価である。しかし、運動部所属率は全校生で55%にとどまり、学年によりばらつきが目立っている〔運動部所属率1年38%、2年90%、3年22%〕
 - 昼休みにボール貸出しを受け、運動場で運動をする生徒は全校生の約20%（昨年度約10%）で活発に身体を動かす生徒が増加している。しかし、運動部に所属していない生徒の運動参加や長期休業中の生活において、生徒が運動の必要性を認識し、積極的に自ら運動に取り組んでいく姿勢の習慣化には課題がある。

「保健体育の授業での取組」

- ・毎授業の中に、体力要素で課題となっている体力（筋力・全身持久力・柔軟性）の強化を目的とした補強運動を取り入れる。
- ・各自で新体力テストの結果を分析することにより、自分の体力の課題と向き合い、自ら運動に意識的に取り組むことができるようにする。

「保健体育の授業以外での取組」

- ・昼休みにボールの貸し出しを行ったり、学級によるスポーツレクリエーションを計画したりし、気軽にスポーツを楽しむことができるようにする。

「縦割り体育祭や小学校との連携」

- ・小学生の庵治中体験では部活動の体験を行い、中学校の部活動に向けて夢や目標を持てるよう小中連携を図る。
- ・他学年との縦割りチームで体育祭を行い、先輩からソーラン節を教えてもらったり、各競技種目のコツなどを学んだりすることで、運動の楽しさを感じる機会とする。



【 目 標 】

- ① 「新体力テストの数値における目標」
 - 総合得点を平均5点上げる。また、総合評価 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値を上げる。
- ② 「運動に対する意識・運動習慣における目標」
 - 昼休みの運動場利用人数を増やし、体育好きと答える生徒の割合をさらに高めるとともに、週末や長期休業中においても、生徒が主体的に運動に取り組めるように課題を工夫する。